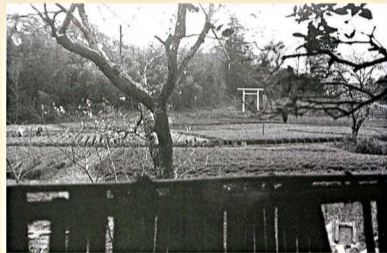


# ～わが街今昔～

青葉区美しが丘5丁目 昭和37年頃  
(1962年)



茅葺き屋根の社殿(上)と現在の社殿。

美しが丘5丁目牛込あざみ野東自治会館付近から神明社を望む



先月の写真、車の走行による砂埃の難を逃れるため早瀬川の左岸から右岸に移転された吉村勝太郎さんのご自宅の庭から神明社を撮影した写真です。正面に見える鳥居は、県の無形文化財「牛込の獅子舞」が奉納される『神明社』の鳥居。この方向から写真を撮って鳥居が正面を向いているのは、現在とは建っている場所が違うため。昭和8年に新しく建てられた鳥居は当初は真東を向いていました。開発によって道路が拡張されたことに伴い、鳥居は現在の場所に移動。社殿の向きは変わっていませんが、当時は茅葺きの屋根でした。社殿が新しく建て替えられたのは昭和56年。棟梁は「辰ちゃん大工」と呼ばれた松村辰男氏。同年5月25日に上棟式、同年9月13日に遷宮式が厳かに行われました。また、小桜愛児園で落慶遷座祭と演芸も開催されたそうです。

神社の目の前に広がっているのは田んぼではなく畑。牛込地区から荏田までの間は早瀬川の川底が深かったため、川から水を引くことが出来ず、主に井戸水を使用した畑作が中心でした。目の前の畑では、昭和8年の大鳥居竣工祝賀会や昭和25年の自治会館落成記念の際に旅回り役者による村芝居が興行されたということです。

吉村さんのご自宅裏を流れていた早瀬川も、現在は畑だった場所の真ん中を流れています。同じ場所からの撮影が出来ないため、江戸時代からの旧道で、かつて『山内第一尋常高等小学校』(第一分教場)が建っていた場所からの撮影となりました。

写真提供：美しが丘5丁目 吉村さん

